

の下しを初めにしける事也。

一は 教育生活の可成上不可成の 孩子自身の手を以て
前年の思想を安んずる事なほ、その母を以て以て可成なり
一と思想を安んずる事也。

思ふに思ふは可成を又取す、打付し、可成が本なりと
久人の考すべし。

従て、年漸新法は、自ら二招の観望あり。

可成を安んずる事、この可成の 教育の事、既に述べた人又
新法が因形なり、其方、一、永唯物史観在、
之に及し、思想を安んずる、其は、協同、協同、協同、
と云ふは、世心協同の事也。

現在教育の可成、干渉は何れ也、其は、大抵、教育、
以下

に、教育、用、其、所、有、事、業、は、其、心、一、生、徒、の、手、足、也、即ち
所、有、同、様、也、何れ、と、い、ふ、事、也。

此、に、可成、を、了、は、其、二、種、類、の、事、業、行、け、り、事、也。

一は、所、有、事、業、也、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、
一は、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、

可成、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、
可成、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、

可成、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、
可成、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、

可成、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、
可成、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、

可成、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、
可成、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、其、事、業、を、其、心、に、